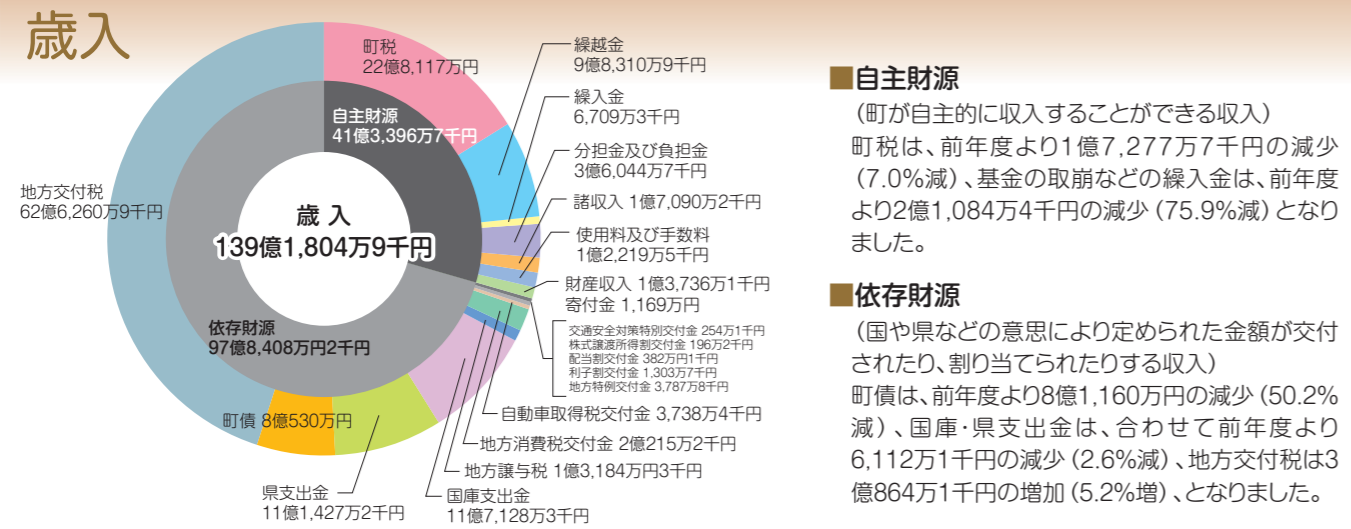


一般会計決算の状況

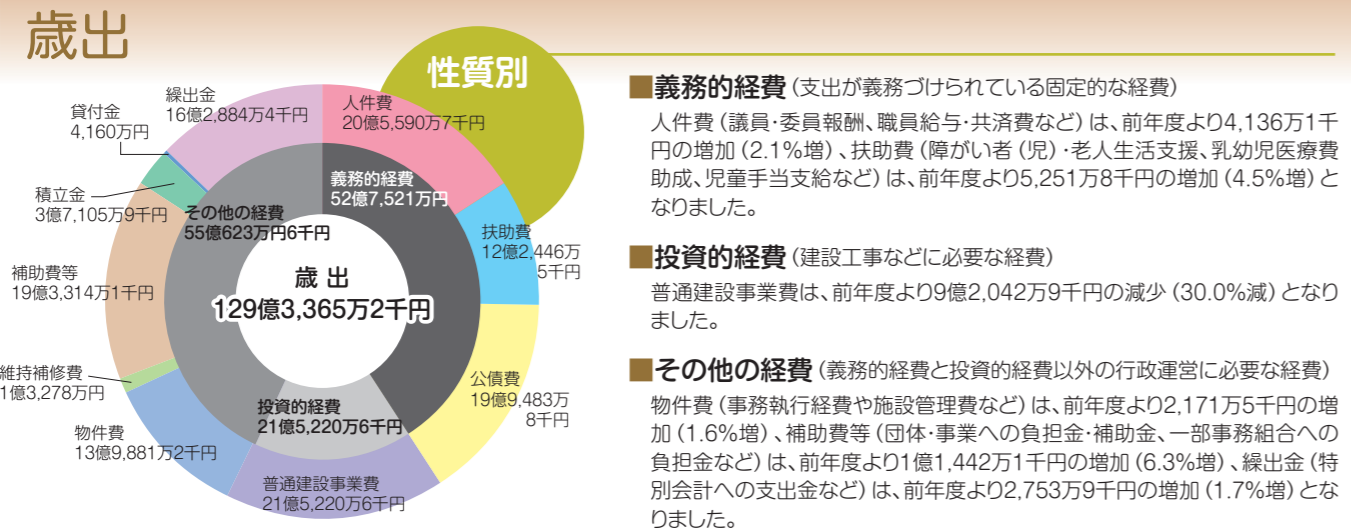
歳入総額 **139億円**

歳出総額 **129億円**

- 決算規模** 決算規模は、歳入、歳出ともに前年度決算額を下回りました。
- 歳入** 歳入総額は、139億1,804万9千円で、景気低迷による町税の減少や町債の抑制などにより、前年度を7億9,978万2千円下回り、5.4%の減となりました。
- 歳出** 歳出総額は、129億3,365万2千円で、普通建設事業費や公債費の減少などにより、前年度を8億107万円下回り、5.8%の減となりました。



- 自主財源**
(町が自主的に収入することができる収入)
町税は、前年度より1億7,277万7千円の減少(7.0%減)、基金の取崩などの繰入金は、前年度より2億1,084万4千円の減少(75.9%減)となりました。
- 依存財源**
(国や県などの意思により定められた金額が交付されたり、割り当てられたりする収入)
町債は、前年度より8億1,160万円の減少(50.2%減)、国庫・県支出金は、合わせて前年度より6,112万1千円の減少(2.6%減)、地方交付税は3億864万1千円の増加(5.2%増)、となりました。



- 義務的経費** (支出が義務づけられている固定的な経費)
人件費(議員・委員報酬、職員給与・共済費など)は、前年度より4,136万1千円の増加(2.1%増)、扶助費(障がい者(児)・老人生活支援、乳幼児医療費助成、児童手当支給など)は、前年度より5,251万8千円の増加(4.5%増)となりました。
- 投資的経費** (建設工事などに必要な経費)
普通建設事業費は、前年度より9億2,042万9千円の減少(30.0%減)となりました。
- その他の経費** (義務的経費と投資的経費以外の行政運営に必要な経費)
物件費(事務執行経費や施設管理費など)は、前年度より2,171万5千円の増加(1.6%増)、補助費等(団体・事業への負担金・補助金、一部事務組合への負担金など)は、前年度より1億1,442万1千円の増加(6.3%増)、繰入金(特別会計への支出金など)は、前年度より2,753万9千円の増加(1.7%増)となりました。

どんなことに使われたの?



平成21年度

わたしたちのまちの 決算報告

平成21年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算が12月の町議会定例会で認定されました。町税や補助金などが「どのくらい入り」、「どのように活かされたか」をまとめた決算の概要をお知らせします。



歳出総額 **211億円**

平成21年度各種会計の決算状況

(単位：千円)

会計	区分	歳入 (A)		歳出 (B)		差し引き (A - B)	
		決算額	対前年比 (%)	決算額	対前年比 (%)		
一般会計		13,918,049	▲ 5.4	12,933,652	▲ 5.8	984,397	
特別会計	国民健康保険事業	2,185,537	8.4	2,119,402	11.9	66,135	
	老人保健事業	10,767	▲ 95.5	10,767	▲ 95.4	0	
	介護保険事業	1,965,711	2.2	1,934,784	2.6	30,927	
	後期高齢者医療事業	227,261	4.3	223,111	2.7	4,150	
	簡易水道事業	633,806	▲ 39.4	628,082	▲ 39.7	5,724	
	公共下水道事業	1,138,582	▲ 12.9	1,128,661	▲ 13.4	9,921	
	集落排水事業	513,250	▲ 24.0	510,164	▲ 23.6	3,086	
	温泉事業	24,208	▲ 63.3	22,464	▲ 63.6	1,744	
	農林漁業体験実習館事業	25,024	▲ 1.4	25,024	▲ 1.4	0	
企業会計	上水道事業	収益的収支	249,063	3.5	246,458	2.5	2,605
		資本的収支	80,648	▲ 27.0	171,239	▲ 12.8	▲ 90,591
	国民宿舎事業	収益的収支	48,204	▲ 49.9	49,146	▲ 56.1	▲ 942
		資本的収支	0	0	13,826	2.2	▲ 13,826
国民健康保険病院事業	収益的収支	1,009,524	▲ 8.2	1,002,195	▲ 3.1	7,329	
	資本的収支	294	▲ 99.2	80,239	▲ 14.5	▲ 79,945	
合計		22,029,928	▲ 7.5	21,099,214	▲ 7.3	930,714	

※企業会計における不足額は、損益勘定留保資金などで補てんされています。

一般会計、特別会計及び企業会計を合わせた歳入総額は、前年度より17億8,774万1千円減少(7.5%減)し220億2,992万8千円、歳出総額は、前年度より16億5,444万9千円減少(7.3%減)し210億9,921万4千円となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた収支は、9億3,071万4千円の黒字となりました。黒字となった9億3,071万4千円は平成22年度へ繰越し、必要な事務事業の財源や借入金の繰上げ償還の財源として、大切に使用させていただきます。

平成21年度に実施した主な事業

快適で安全に住めるまちづくり

より安全な道路への改良

- 町道改良事業 [86,335千円]
町道の局所的な舗装、側溝の改良工事や危険箇所における災害防除工事の実施
- 国県道改良事業 [53,376千円]
国道305号、主要地方道武生米ノ線ほか、県施工の道路改良工事経費の負担金
- 地域活力基盤創造交付金事業 [179,000千円]
町道乙坂気比庄線・町道窪田線の消雪設備工事、宝泉寺グラウンド線の道路改良（歩道整備）工事、町道中央線ほか5路線の舗装修繕工事の実施

災害救急対応の強化

- 鯖江・丹生消防組合丹生分署建設事業 [180,675千円]
下河原地係に消防防災拠点として丹生分署を整備

安全で良質な水の供給

- 朝日地区簡易水道統合整備事業 [204,480千円]
萩野地区の配水管布設、糸生中部送水ポンプ場・赤井谷排水ポンプ場の設置などにより上水道区域、簡易水道区域を統合
- 織田地区統合簡易水道事業 [18,322千円]
下河原・平等地係の配水管敷設替などを実施



美しい水と環境を守る

- 雨水管渠整備事業 [65,290千円]
西田中・気比庄地係において雨水管渠を整備

公共交通の確保と利用促進

- 地域公共交通活性化事業 [100,804千円]
コミュニティバス「フレンドリー号」の運行、路線バス利用の高齢者と高校生への運賃補助、路線バス事業者に対する路線維持支援補助などを実施

健康で安心して暮らせるまちづくり

出産と子育ての応援

- 乳幼児医療費無料化対策事業 [31,798千円]
小学校就学前までのすべての乳幼児にかかる医療費の一部を助成

少子化対策の推進

- 妊婦・乳幼児健診事業 [17,834千円]
県内医療機関における妊婦健診14回及び乳児健診3回分を助成



人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

男女共同参画社会の推進

- 男女共同参画推進事業 [3,080千円]
町民2,000人を対象とした男女共同参画に関する意識調査の実施、「越前町男女共同参画推進条例」の制定、町内小中学校や地区・団体を対象とした「気づき事業」の実施、男女共同参画まちづくり推進委員会や越前町男女共同参画ネットワーク活動の充実、「えちぜん男女共同参画のつどい」などを開催

国際交流の推進

- 国際交流事業 [8,595千円]
国際員を配置し、在住外国人との文化交流を推進、国際交流協会による国際交流フェスティバルの開催、国内外の交流都市との児童交流などを実施

学校 ICT（情報通信技術）環境の整備

- 学校 ICT 環境整備事業 [68,597千円]
町内小中学校にデジタルテレビ・電子黒板を設置

ホッケー場の整備

- 越前町人工芝ホッケー場整備事業 [165,740千円]
ホッケー大会時の運営本部機能や競技コートの統括機能の充実を図るため、管理棟を建設

元気で活力みなぎるまちづくり

農業担い手の育成支援

- 明日の地域農業を支える担い手条件整備事業 [7,994千円]
農地保有合理化法人等が地域農業の担い手となる認定農業者や認定生産組織に対して機械リースを実施する場合の機械導入費を助成



水産業の振興

- 漁村再生交付金事業 [262,808千円]
米の浦漁港の用地造成などを実施

個性豊かで誇りのもてるまちづくり

観光産業の活性化

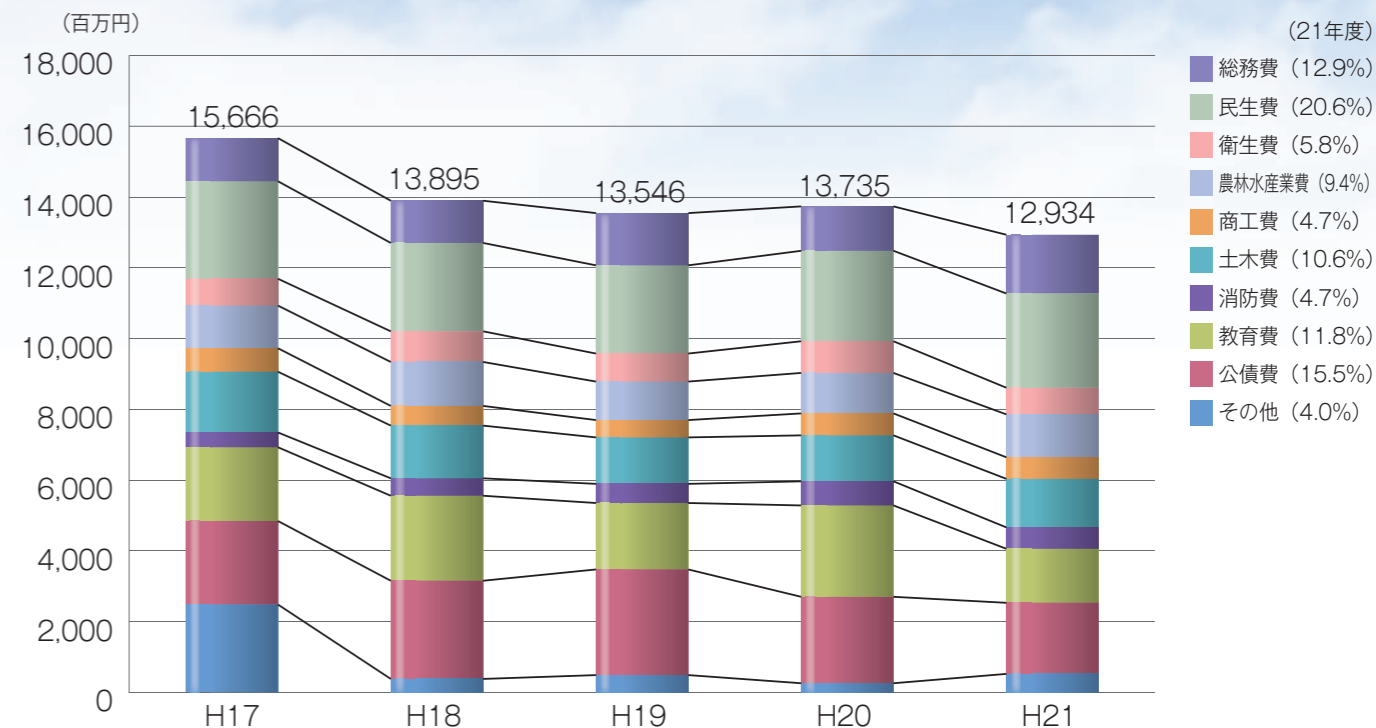
- 観光周遊バス運行 [3,835千円]
冬季観光客の町内観光施設の誘客と、観光客の交通手段の確保のため、観光施設周遊バスを運行

町民に開かれた健全行財政のまちづくり

コミュニティセンターの整備

- 宮崎コミュニティセンター建設事業 [74,509千円]
宮崎地区の地域コミュニティの拠点施設として宮崎コミュニティセンターを新たに建設するための建設工事実施設計委託業務などを実施

一般会計歳出決算（目的別）の推移

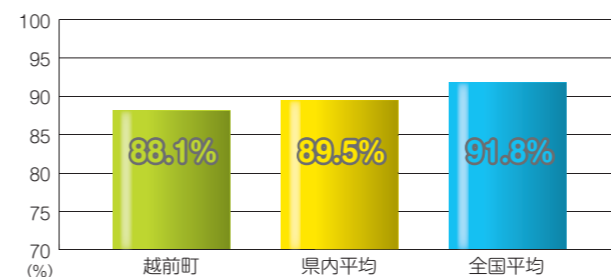


平成21年度の歳出総額は、平成17年度に比べ約27億円減少しています。平成17年度の歳出総額が大きい理由は、町村合併に際し、地域振興基金への積立て（約21億円）をおこなっているため、その積立て分を除いても約6億円減少しています。本町決算の傾向として、各年度とも歳出総額に対し、民生費、教育費、公債費の占める割合が大きくなっています。公債費の割合が大きい理由は、借入金の総額を減らして、後年度負担を軽減するために、平成18年度から平成21年度にかけて約20億円の繰上償還を行ったためです。

財政指標

経常収支比率 **88.1%**

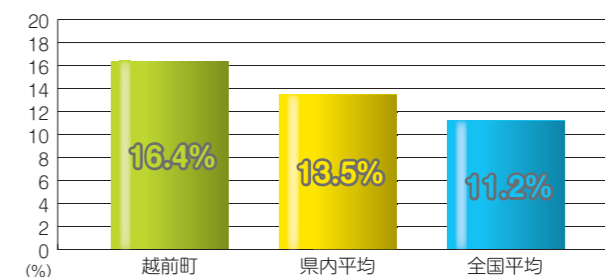
前年度より、2.0ポイント改善！



●経常収支比率が88.1%とは、どういうことですか？
家計に例えれば、平成21年度の給料などの収入が100万円であったのに対し、食費や光熱水費、ローン返済など毎年必要な支出が88万1千円で、残りが貯蓄や一括返済など、自由に使えるお金ということです。
市町村では一般的に、80%以下が望ましいと言われていいます。

実質公債費比率 **16.4%**

前年度より、3.3ポイント改善！



●実質公債費比率が16.4%とは、どういうことですか？
経常収支比率と同じように、平成21年度の収入が100万円あった家計に例えると、そのうち16万4千円は借金返済に使ったということになります。
実質公債費比率が18%以上の市町村は、新たな町債（借金）を借入れる際に、県の許可が必要となります。